

FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

昨年は改元で晴れやかなGWでしたが今年は様変わりです。

遠出ができない中、地域や家族など身近なところを見直す機会になった、という声もよく聞きます。

一方、経済への影響も大きく今後に不安を感じる方もいるかもしれません。自治体などの制度をよく確認して上手に利用したいですね。

私自身は、改めて経済的な備えの必要性を実感しました。世の中のだれも気にも留めないけどその人にとって大変なことが起こった時のために自分の仕事がある、という事を再確認しました。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

ゴールド免許になると自動車保険料が安くなる、というのは良く知られていますね。実は、それ以外にも特典があるのはご存知ですか？

最近のニュースから

最近ニュースでよく耳にする「テレワーク」。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために満員の通勤電車など人との接触を避ける取組みとして注目を集めています。

すでに社内や外部との打合せなどにオンラインミーティングを利用されている方もいるのではないのでしょうか？

また、オンラインで食事会や飲み会をする人もいます（オンライン飲み会専用アプリもあるようです）。

利用した人の中にはテレワークやオンラインで十分できることもある、と感じた人もいますかもしれませんね。

東京商工会議所が実施したアンケートによると、すでにテレワーク実施中の企業は26.0%、実施検討中の企業は19.5%でした。

テレワークを実施するにあたっての課題は、社内体制の整備、パソコンの整備、社内情報のセキュリティ確保などが挙げられています。今後はこのような課題を解決しながら普及をしていくのかもしれませんが。

東京商工会議所 <https://www.tokyo-cci.or.jp/page.jsp?id=1021764>



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2020年2月末	360,000	363,692	366,911	371,775
2020年3月末	370,000	336,434	349,198	360,826
2020年4月末	380,000	362,289	371,109	380,263

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

4月は大幅に反発

	日経平均	NYダウ	ドル円
3月末	18,917.01	21,917.16	107.53
4月末	20,193.69	24,345.72	106.59
月間騰落率	6.75%	11.08%	

4月の株式市場は一転して大幅に反発しました。NYダウの11.08%高は、1985年以来2番目の上げ幅です。

Date	NYダウ	月間値幅	月間騰落率
1987年1月	2158.04	262.0901	13.82%
2020年4月	24345.72	2428.56	11.08%
2002年10月	8397.03	805.1001	10.60%
1999年4月	10789.04	1002.88	10.25%
1998年10月	8592.1	749.4795	9.56%

株式市場は大きな上昇と大きな下落がある時期と比較的小さな値動きをしている時期があります。大きな下落を避けるために投資を継続するのを止めてしまったり、株式の比率を下げたりすると大きな上昇の恩恵を受けることができなくなります。

以下は「ウォール街のランダム・ウォーカー」バートン・マルキール著からの抜粋です（S&P500は米国の大企業500社の株価指数）。

“1980年代にはS&P500平均でみた株式投資の総リターンは年平均17.6%にもなったが、合計2578取引日のうち最も上昇率の大きかった10日間を逃しただけで、平均リターンは12.6%にも下がってしまったことになるのだ。対象を60年代から90年代に広げてみても同様の結果が指摘される。”

この書籍が書かれたのは47年前の1973年ですが、その後も同様のことが繰り返されています。

当コラムは、商品選択の考え方、価格変動やニュースなどにどう対応するべきかについての一つの考え方をお伝えするもので、特定の運用商品、運営管理機関を推奨するものではありません。また、特定の商品の将来のパフォーマンスを約束するものでないことをご理解の上、ご覧ください。記載の情報（税制・社会保障制度・金融商品・マーケット・価格情報等）は発行日時点での情報に基づくもので将来は変更になることもあります。数値は公表されているデータに基づき当社にて計算・加工をしていますが、正確性を保証するものではありません。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

改めて積立投資（ドルコスト平均法）の仕組みを確認しましょう

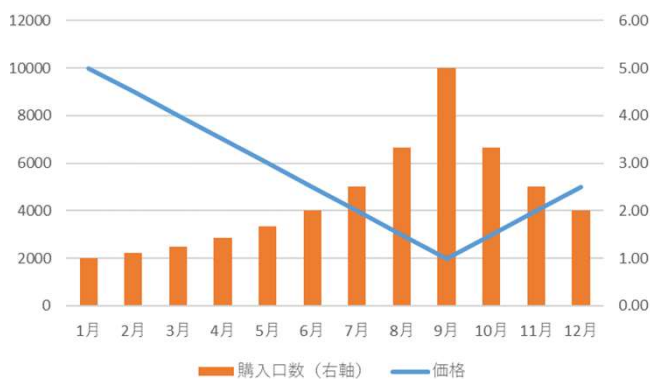
株式投資信託などは安い時に買った方がよい、というのは誰でもわかるのですが、安い時はもっと値下がりしそうに感じ、購入するのが怖い、と感じることもあると思います。

積立投資（ドルコスト平均法）では、日々の値動きを気にせずに投資の成果を得ることができる仕組みです。今回は改めて「ドルコスト平均法」について整理してみます。

ドルコスト平均法とは

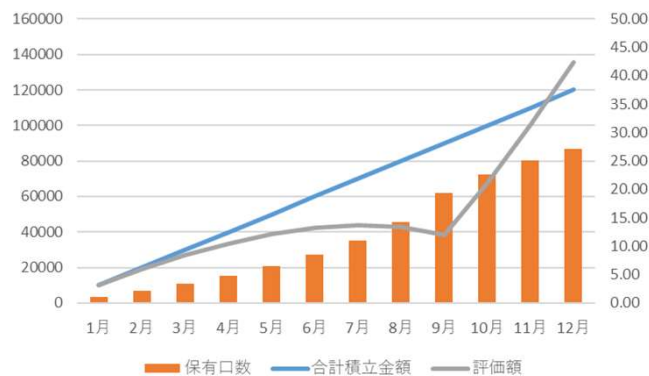
定期的に一定額を投資することで、価格が高い時には少なく、安いときには多くの口数（数量）を購入する、という投資方法です。

下図は、青線の値動きをする商品を毎月1万円ずつ購入した例です。オレンジの棒グラフは1万円で購入した口数を表しています。



1万円の時は1口、翌月以降値下がりをしていきますが、購入口数は多くなっていることがわかります。

右上のグラフは、保有口数と評価額の推移を表しています。値下がり時には評価額は積立額に対してマイナスになる一方、保有口数が増えていき、12か月目には価格は5,000円と当初価格の半分ですが、評価額は135,615円（保有口数×価格）と投資額合計120,000円に対し、15,615円のプラスになりました。



このようにドルコスト平均法は、日々の価格を気にすることなく、月々が少額でも時間の経過とともに保有口数を増やし、企業の成長に伴い投資の成果を得ることができる、という大きなメリットがあります。

下図は前頁のシミュレーションで使っている株式比率75%のファンドの価格と月の購入口数の推移です。



価格（青線）が高い時は購入口数（オレンジ棒）が小さくなり、価格が低い時は購入口数が多くなっていますね。

今後、自粛期間の経済への影響の大きさがはっきりしてきたり、場合によっては大きな破綻などがあると、3月の安値を下回ることもあるかもしれません。

しかしながらドルコスト平均法の仕組みを知ると、投資（積立）期間を長くとれるのであれば、日々の値動きに惑わされず継続することが大切だということが理解できるのではないのでしょうか。

ちょっと気になるお金のコラム

今回は、身近で持っている人も多い「ゴールド免許」を活用することで、お得なサービスを色々受けられるというお話を紹介します。

ゴールド免許のメリット

ゴールド免許は、更新日から過去5年間に渡って無事故・無違反の人が受けられる免許で、道路交通法で定められています。ゴールド免許には、①免許証の有効期間が長い、②更新の際の講習時間が短い、③講習手数料が安い、といったメリットがあるほか、自動車保険料が安くなる場合もあります。

意外に知られていない「ゴールド免許」の活用法

「SDカード」を発行してもらうことで、レストランや買い物などでもお得になる場合があります。発行手順と優遇店の種類についてご紹介します。

(1) SDカードの発行

SDカードとは、「安全運転者 (Safe Driver)」であることを表すもので、警察庁が所管する自動車安全運転センターで発行されています。発行手数料は1通630円です。



(2) 利用方法

SDカード優遇店（全国で約1万5000件）は、自動車安全運転センターのホームページで探すことができます。

<https://www.jsdc.or.jp/sd/tabid/116/Default.aspx>

優遇店の業種は、金融機関、レンタカー・運転代行、飲食店、ガソリンスタンド、引っ越し・運送、ショッピングなど多岐にわたっているため、もしかしたら普段利用しているお店が該当しているかもしれません。

優遇店では「SDカード優遇店」というステッカーが貼られているので、見つけたらSDカードを提示してみましょう。



～優遇店の例～

- ・トヨタレンタカー 基本料金5%割引
- ・アート引越センター 引越基本料金25%割引
- ・小田急百貨店 OPカード発行時に300ポイントプレゼント
- ・車屋 お料理代金10%割引（現金支払い）、5%割引（クレジットカード利用）
- ・ホテル椿山荘東京 基本料金5%割引
- ・IACEトラベル 企画ツアーを一般価格より低料金の優遇（詳細は問い合わせ）
- ・SUIT SELECT 全品10%割引
- ・洋服の青山 店頭販売価格5%割引
- ・二木ゴルフ 店内表示価格5%割引

ご紹介したのは優遇店の一部です。普段使っているお店やサービスがある場合には利用してみたいはいかがでしょうか？

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を申し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<https://fp-matsumoto.com/contact/>



 **FAX:050-3730-0380**



個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内